	⑵　相互接続局ごとに、当該局の相互接続用１０Ｇインタフェース数及び関門系ルータ対向１０Ｇインタフェース数の合計に相互接続局用Ｌ２ＳＷ予備１０Ｇインタフェース数を加えたものを当該局の相互接続局用Ｌ２ＳＷ１０Ｇインタフェース数とし、光ＩＰ電話に係るもの（最繁時帯域比により算定するものとする。）を控除したものを、当該局のメタルＩＰ音声系相互接続局用Ｌ２ＳＷ１０Ｇインタフェース数とする。 ⑶　⑴及び⑵で算定した相互接続局用Ｌ２ＳＷ１Ｇインタフェース数及び相互接続局用Ｌ２ＳＷ１０Ｇインタフェース数の合計を相互接続局用Ｌ２ＳＷ１ユニット当たり最大インタフェース数で除したもの（１に満たない端数は、切り上げるものとする。）を当該局の相互接続局用Ｌ２ＳＷユニット数とし、光ＩＰ電話に係るもの（最繁時帯域比により算定するものとする。）を控除したものを、当該局のメタルＩＰ音声系相互接続局用Ｌ２ＳＷユニット数とする。 ２　投資額の算定 次の算定式により、局ごと相互接続局用Ｌ２ＳＷ投資額を求め、全ての局について当該投資額を合算し、相互接続局用Ｌ２ＳＷ投資額を算定する。 局ごと相互接続局用Ｌ２ＳＷ投資額 ＝メタルＩＰ音声系相互接続局用Ｌ２ＳＷユニット数×相互接続局用Ｌ２ＳＷユニット単価 ＋メタルＩＰ音声系相互接続局用Ｌ２ＳＷ１Ｇインタフェース数×相互接続局用Ｌ２ＳＷ１Ｇインタフェース単価 ＋メタルＩＰ音声系相互接続局用Ｌ２ＳＷ１０Ｇインタフェース数×相互接続局用Ｌ２ＳＷ１０Ｇインタフェース単価
ＳＢＣ	１　設備量の算定 ⑴　相互接続局ごとに、当該局の最繁時呼数（接続呼に係るものに限る。）をＳＢＣ収容率及びＳＢＣ呼処理部１ユニット当たり最大処理最繁時呼数で除したものを、当該局のＳＢＣユニット（呼処理部）数とする。ただし、当該局に設置するＳＢＣの設備量がＳＢＣ１ユニット当たり最大処理セッション数により決定する場合には、ＳＢＣユニット（呼処理部）数は０とする。 ⑵　相互接続局ごとに、当該局の最繁時呼量（接続呼に係るものに限る。）から算定したＳＢＣ同時接続数をＳＢＣ収容率及びＳＢＣセッション管理部１ユニット当たり最大処理同時接続数で除したものを、当該局のＳＢＣユニット（セッション管理部）数とする。ただし、当該局に設置するＳＢＣの設備量がＳＢＣ１ユニット当たり最大処理セッション数により決定する場合には、ＳＢＣユニット（セッション管理部）数は０とする。 ⑶　相互接続局ごとに、当該局の最繁時呼量（接続呼に係るものに限る。）をＳＢＣセッション数とし、これをＳＢＣ収容率及びＳＢＣ１ユニット当たり最大処理セッション数で除したものを、当該局のＳＢＣユニット数とする。ただし、当該局に設置するＳＢＣの設備量がＳＢＣ１ユニット当たり最大処理最繁時呼数及びＳＢＣ１ユニット当たり最大処理同時接続数により決定する場合には、ＳＢＣユニット数は０とする。 ⑷　⑴のＳＢＣユニット（呼処理部）数から光ＩＰ電話に係るもの（当該局の最繁時呼数比により算定するものとする。）を控除したものを、当該局のメタルＩＰ音声系ＳＢＣユニット（呼処理部）数とする。 ⑸　⑵のＳＢＣユニット（セッション管理部）数及び⑶のＳＢＣユニット数から、それぞれ光ＩＰ電話に係るもの（当該局の最繁時帯域比により算定するものとする。）を控除したものを、メタルＩＰ音声系ＳＢＣユニット（セッション管理部）数及びメタルＩＰ音声系ＳＢＣユニット数とする。 ２　投資額の算定 次の算定式により、局ごとＳＢＣ投資額を求め、全ての局について当該投資額を合算し、ＳＢＣ投資額を算定する。 局ごとＳＢＣ投資額 ＝（メタルＩＰ音声系ＳＢＣユニット（呼処理部）数×ＳＢＣユニット（呼処理部）単価 ＋メタルＩＰ音声系ＳＢＣユニット（セッション管理部）数×ＳＢＣユニット（セッション管理部）単価 ＋メタルＩＰ音声系ＳＢＣユニット数×ＳＢＣユニット単価） ×（１＋相互接続局共通設備投資額加算率） ＋（メタルＩＰ音声系ＳＢＣユニット（呼処理部）数×ＳＢＣユニット（呼処理部）ソフトウェア単価 ＋メタルＩＰ音声系ＳＢＣユニット（セッション管理部）数×ＳＢＣユニット（セッション管理部）ソフトウェア単価 ＋メタルＩＰ音声系ＳＢＣユニット数×ＳＢＣユニットソフトウェア単価 ＋ＳＢＣ同時接続数×ＳＢＣ同時接続数当たりソフトウェア単価） ×（１＋相互接続局共通設備ソフトウェア投資額加算率）
ＥＮＵＭサーバ	１　設備量の算定 ⑴　相互接続局ごとに、当該局の最繁時呼数（接続呼に係るものに限る。）から算定したＥＮＵＭクエリ数をＥＮＵＭサーバ１ユニット当たり最大処理クエリ数で除したものを、当該局のＥＮＵＭサーバユニット数とする。ただし、当該局にＥＮＵＭ・ＤＮＳ共通サーバを設置する場合には、ＥＮＵＭサーバユニット数は０とする。